

国道7号 朝日温海道路 地質調査結果と今後の対応について

- 国土交通省新潟国道事務所では、現在、朝日温海道路(新潟県側34.1km)の改築事業を進めております。
- 本事業では、鉱山跡地を通過することから、道路建設にあたっては、自然由来の重金属を含む地層の改変を極力回避するとともに、事前に地質調査を行いながら工事を進めることとしております。
- 今回、工事の本格化にあたり、地質調査試料の分析※¹を行ったところ、一部の岩石から自然由来の重金属の存在が確認されました。
- この自然由来の重金属は、土壌ではなく岩石中に存在することから、土壌汚染対策法での対象とはなりません。が、周辺環境等への影響に配慮し、有識者等の助言を頂きながら、詳細な分析※²を実施し、適切な対応を実施してまいります。

※¹： 土壌汚染対策法に定める測定方法に準拠し、現地で採取した岩石を2mm以下に破碎し、試験を行っています。

※²： 10～40mmに破碎した試料を村上市内で屋外曝露させ、実現象に近い状態を再現する試験を行っています。

位置図

トンネル(下図参照)や大規模切土箇所の深部等における地質調査試料の分析で、一部の岩石から自然由来の重金属の存在が確認されました。



お問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局

新潟国道事務所

副所長 松川 武彦(まつかわ たけひこ) (内線204)

電話 025-244-2159(代表) FAX 025-246-7763

みなみさぐち
〒950-0912 新潟市中央区南笹口2-1-65
<http://www.hrr.mlit.go.jp/niihoku/>



地質調査結果

対象岩石	たんきようしゅつしけんけつか 短期溶出試験結果※3（単位:mg/L）							
	カドミウム	六価クロム	水銀	セレン	鉛	砒素	ふっ素	ほう素
朝日温海道路における全岩石	不検出 ～ 0.12	不検出	不検出	不検出 ～ 0.033	不検出 ～ 0.095	不検出 ～ 0.25	不検出 ～ 3.5	不検出 ～ 0.77

※3）調査結果は、現地で採取した岩石を、2mm以下に破碎した試料により試験を行うことで、強制的に成分を抽出した数値であり、現地で溶出される量とは異なります。

【土壤汚染対策法に基づく基準（参考）】

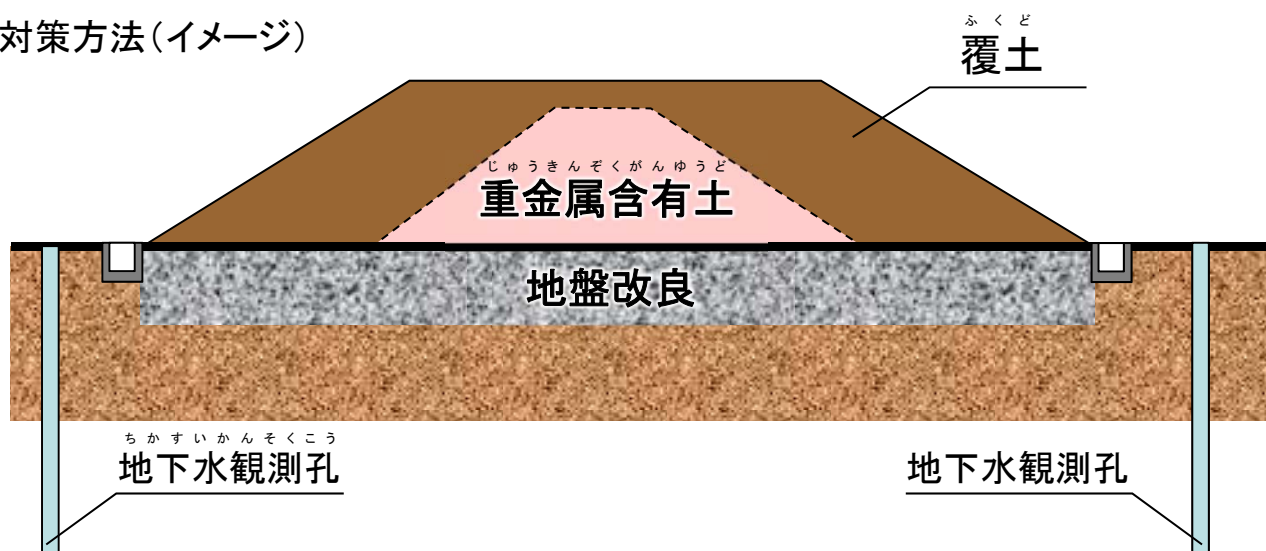
今回確認された重金属は岩石中に存在することから、土壤汚染対策法は適用されませんが、参考として土壤汚染対策法の基準値を記載します。

物 質	カドミウム	六価クロム	水銀	セレン	鉛	砒素	ふっ素	ほう素
土壤溶出量基準 （単位:mg/L）	0.01 以下	0.05 以下	0.0005 以下	0.01 以下	0.01 以下	0.01 以下	0.8 以下	1以下

対策内容

- 岩石の有効活用においては、搬出先の用途にあわせ、雨水・地下水の浸透及び浸透水の発生を低減する対策を行うとともに水質の監視を行います。
- 今後、調査を継続し溶出量に応じた適切な対策※4を実施していきます。

○対策方法（イメージ）



「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土砂への対応マニュアル」（平成22年3月）に基づき適切な対策を実施
 ※4）重金属が確認された岩石は、適切に処理することで、周辺環境に影響を及ぼさずに現場内での利活用が可能です。